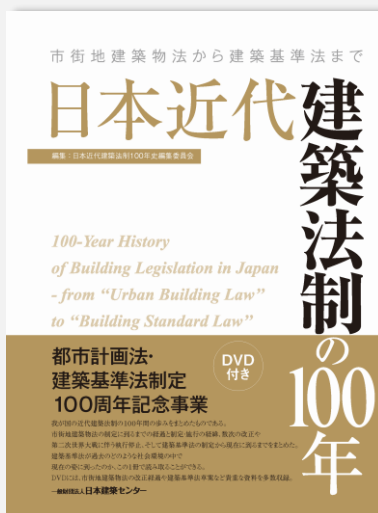


日本近代建築法制の 100 年

市街地建築物法から建築基準法まで



新刊のご案内

1919 年に市街地建築物法及び都市計画法が制定されてから 100 年を迎えるのを記念して行われる都市計画法・建築基準法制定 100 周年記念事業の一環として、我が国の近代建築法制の 100 年間の歩みをまとめました。

- 編集 日本近代建築法制 100 年史編集委員会
- 発行 一般財団法人日本建築センター
- 定価 本体 4,500 円＋税
- 体裁 A5 判 592 ページ＋DVD 付き
- ISBN 978-4-88910-176-8

● 「日本近代建築法制の 100 年 市街地建築物法から建築基準法まで」 目次

第 1 章 市街地建築物法の歴史

- 1-1 市街地建築物法以前の法制度
- 1-2 市街地建築物法制定への道
- 1-3 都市計画法と市街地建築物法の成立
- 1-4 市街地建築物法の構成と適用の経過
- 1-5 関東大震災と市街地建築物法
- 1-6 日伊の耐震構造計算の導入期
- 1-7 市街地建築物法施行の体制とその歴史
- 1-8 昭和初期の市街地建築物法
- 1-9 戦時下の市街地建築物法

第 2 章 市街地建築物法・建築基準法と

建築学会

- 2-1 建築学会が果たしてきた役割
- 2-2 日本近代建築法制の成立と建築学会
- 2-3 建築基準法制定時の施行令の策定過程と建築学会
- 2-4 市街地建築物法の構造規定と建築学会

第 3 章 建築基準法の制定とその後の経緯

- 3-1 市街地建築物法の改正検討から新しい建築法草案へ
- 3-2 建築基準法の検討と制定
- 3-3 復興・成長時代における建築基準法（昭和編）
- 3-4 成熟時代における建築基準法（平成編）

第 4 章 建築基準法の展開

- 4-1 地震と建築行政
- 4-2 木造建築物と建築基準
- 4-3 土地利用の高度化、そして建築紛争と日影規制
日影規制検討当時を語る/インタビュー
- 4-4 地区計画とその後の展開
- 4-5 規制緩和・民間活力の活用と建築基準法
(1980 年代の経済・社会)
- 4-6 建築確認・検査の民間開放
- 4-7 建築基準の適正な執行体制の整備
- 4-8 新技術と建築基準
- 4-9 建築行政のウィングの広がり

第 5 章 建築行政の現場から

- 5-1 東京における建築法制執行の足跡
- 5-2 神奈川における建築法制執行の足跡
- 5-3 愛知における建築法制執行の足跡
- 5-4 京都における建築法制執行の足跡
- 5-5 大阪における建築法制執行の足跡
- 5-6 兵庫における建築法制執行の足跡

参考資料

- 資料 1 市街地建築物法
- 資料 2 市街地建築物法施行令

DVD 資料集